

FG名称： がん治療FG

FGリーダー： 石田竜弘(徳島大学大学院HBS)

FG組織委員： 岩本卓也先生(三重大学医学部薬剤部)(次期リーダー平成27年度より)  
宇都口直樹先生(帝京大学薬学部)(前リーダー・3月末で退任予定)  
大槻純男先生(熊本大学薬学部)  
荻原琢男先生(高崎健康福祉大学大学院)  
河原昌美先生(金沢市立病院薬剤室)  
中田雄一郎先生(参天製薬)  
宮本祐司先生(協和発酵キリン)

FGの目的:

がん治療FGは、日本薬剤学会においてFG事業が開始された際、活動の範となるべきFGとして最初に設置されたFGの中の一つである。当初、がん治療をキーワードとし、がん化学療法、免疫療法、遺伝子治療など広範な領域をカバーしていたが、これらを活動領域とするFGが発足してきたことから、現在は臨床におけるがん治療を当該FGがカバーする領域として位置づけ、特に医療に従事する会員(主として薬剤師)に対して情報提供を行う事を主たる目的としている。今後は、病院薬剤部に所属するFG組織委員を中心として、医療現場が抱える課題を大学・企業に伝達することで、リバーズ・トランスレーショナル・リサーチの実現を目指し活動を発展させていく。

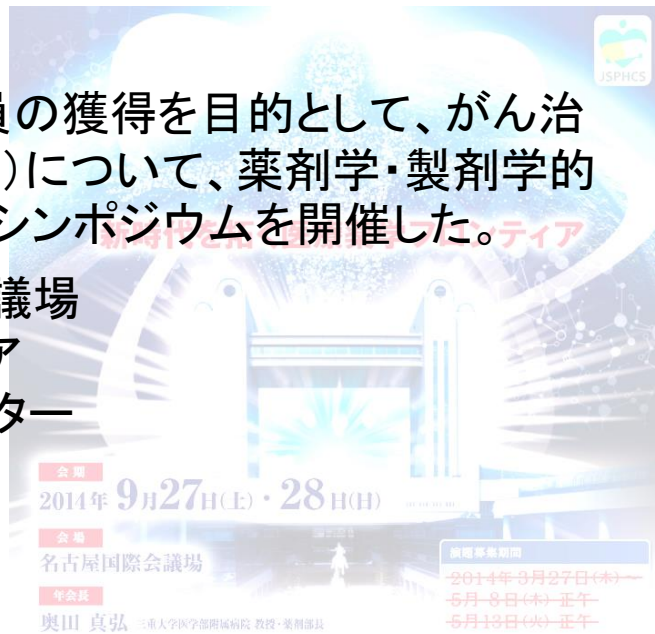
本FGの活動の特徴、特筆すべきポイント:

日本薬剤学会における主催シンポジウム、日本医療薬学会ジョイントシンポジウムなどにおいて、がん専門薬剤師講習会・教育セミナーとして登録し、参加される会員の薬剤師が研修単位認定を受けられることができるよう、FGとしてサポートしている。

## 2014年度の活動実績：

日本医療薬学会会員との情報交換・交流、および新規会員の獲得を目的として、がん治療を支える創薬、創剤技術、医療現場のフロンティア(進展)について、薬剤学・製剤学的観点から日本医療薬学会会員に情報提供を行うジョイントシンポジウムを開催した。

第24回・日本医療薬学会(2014年9月28日)名古屋国際会議場  
がん治療を支える創薬、創剤技術、医療現場のフロンティア  
新聞秀一・国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター  
大槻純男・熊本大学大学院生命科学研究部  
森川琢也・三重大学医学部附属病院薬剤部  
吉野公一郎・カルナバイオサイエンス株式会社  
菊池寛・エーザイ株式会社PST機能ユニット製剤戦略担当



## 2015年度の活動予定：

日本薬剤学会第30年会・ラウンドテーブルセッション  
医療現場における抗がん薬製剤の現状と薬剤学的な課題  
—日本医療薬学会とのジョイントシンポジウムでのアンケート調査から見えてきたもの—  
オーガナイザー 岩本 卓也(三重大学医学部附属病院 薬剤部)  
オーガナイザー 中田 雄一郎(参天製薬株式会社)

第25回・日本医療薬学会(2015年11月21-23日)パシフィコ横浜  
日本薬剤学会・日本医療薬学会ジョイントシンポジウム(提案予定)